

# オール光ネットワーク共通基盤技術に係るWGの設置について

---

令和6年2月22日  
事務局

## Beyond 5G基金事業の内容

### 【事業目的】

2030年代の導入が見込まれる次世代情報通信インフラBeyond 5G（6G）について、我が国の国際競争力の強化や経済安全保障の確保を図るため、社会実装及び海外展開を見据えた民間企業や大学等による研究開発・国際標準化を支援。

### 【経済対策を踏まえたB5G基金事業の拡充について】

- オール光ネットワークの事業者間連携のための共通基盤技術の開発
- 既に着手しているプロジェクトの継続的な支援
- 国際標準化活動に対する支援

のため、B5G基金を拡充し、研究開発・国際標準化、社会実装、海外展開に向けた企業等の思い切った関連投資等を促す。

「デフレ完全脱却のための総合経済対策」（令和5年11月2日閣議決定）

第2章 経済再生に向けた具体的施策 第3節 成長力の強化・高度化に資する国内投資を促進する

1. 生産性向上・供給力強化を通じて潜在成長率を引き上げるための国内投資の更なる拡大

(3)GX・DXの推進及びAIの開発力強化・利用促進に資する基盤整備

DXについては、5Gシステムやデータセンター等に必要先端半導体等の国内生産拠点整備や研究開発を支援する。Beyond5Gの実現と我が国発の技術確立に向けて、社会実装・海外展開を目指した研究開発及び国際標準化活動を支援する基金を拡充し、企業等による投資を促す。

## Beyond 5G基金事業のスキーム



### ① 社会実装・海外展開志向型戦略的プログラム

- 助成型：～数十億円程度/年（補助率最大1/2）**（積増）**
- **委託型：業界横断的な共通基盤技術の研究開発（新規）**

### ② 要素技術・シーズ創出型プログラム

- 委託：～1億円程度/年（最大数億円）

### ③ 電波有効利用研究開発プログラム

- 委託：開発規模に応じ、上記①/②と同程度

### ④ 国際標準化活動支援メニュー（新規）

- 助成：国際標準化活動に必要な旅費や専門人材の人件費等を支援

**R5補正予算：190.0億円**

# オール光ネットワークの構築に向けた技術開発の概要

技術戦略委員会(第41回:令和5年12月7日)  
事務局資料(P.2)

## 個別技術の開発

R4年度よりオール光ネットワークの実現に必要な個別技術の研究開発を実施

## 共通基盤技術の確立

オール光ネットワークの事業者間連携のための共通基盤の構築に向けて、令和5年度補正予算により基金を拡充。

光ネットワークコントローラ  
ネットワーク機器のソフトウェア化

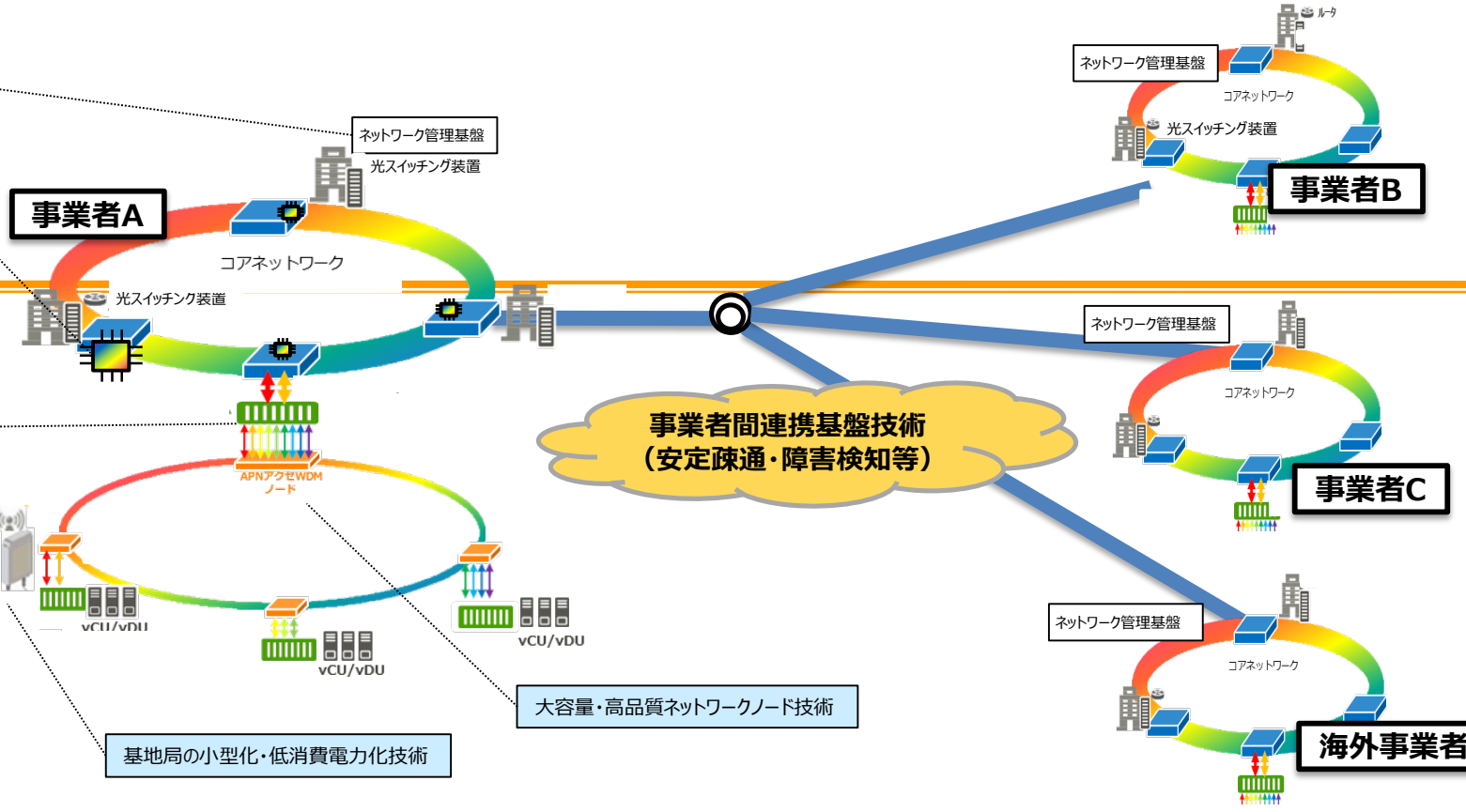
1T超級光トランスポート用DSP回路実装技術

光波長・信号フォーマットの変換技術  
帯域拡張光ノード技術

遠隔制御対応光トランシーバ構成技術

基地局の小型化・低消費電力化技術

大容量・高品質ネットワークノード技術



- 個別技術開発 (R4年度開始)
- 個別技術開発 (R5年度開始)
- 基盤技術開発

- オール光ネットワークに係る共通基盤技術の研究開発方針の策定やプロジェクトの成果に係る標準化等を含めた普及方策の検討を行うため、技術戦略委員会の下に、有識者からなるワーキンググループを新たに設置。
- これとともに、事業面の評価やモニタリング等を実施している革新的情報通信技術プロジェクトの名称を変更。

## 技術戦略委員会

【新設】

### 革新的情報通信技術プロジェクト 事業面評価等WG (令和5年1月30日設置) ※革新的情報通信技術プロジェクトWGから名称変更

社会実装・海外展開を目指した戦略的プログラム（助成）について、主として戦略とコミットメントを持ったプロジェクトを支援するため、事業面の評価やモニタリング（進捗管理・助言）等を実施。

### オール光ネットワーク 共通基盤技術WG

オール光ネットワークの業界横断的な共通基盤技術の研究開発について、研究開発方針の策定やプロジェクトの成果に係る標準化等を含めた普及方策の検討、プロジェクトの進捗確認・助言等を実施。